#超・寄り道系 クリエイト

みんなでつくる - 建築

計画、設計、解体、施工 家具作り、施設運営

みんなでつくる - 資金

応援してもらうためのプレゼン SNS 発信や映像制作など

みんなでつくる - **企画・運営**

みんなでつくるための場作りを 始めから一気通貫で取り組む

Mission- 行ったり来たり「つくる」を実験する



仲間を探していた

物件購入をきっかけに、一緒に活動で

きる仲間を探していた。興味を持った人

たちが島を訪れる。そんな中、島会議

に繋がるきっかけの出会いがあった。

地域を想う、私の思い

自分でつくる文化

暮らしの場を維持するには、自らの 住まいの創造を能動的に行うことが 重要であり、その行為は身近で難しく ないものである必要がある。そこで、 私たちは**分かりやすい**「材料」「構造」 「工法」「メンテナンス」を用いて 家づくりを実験している。その建築 行為が楽しく、美しくあることで 文化として地域に根付き、持続して いくことを期待している。

よそ者としての ふるまい

チャルメラ屋台で挨拶周りをしたり、 一緒に解体作業したり、祭りを開催 した。それらがよそ者が入ってくる ことへの緩衝材となり、少しずつ 活動に関心を持つ人が増え受け入れ られつつある。「どんな思いで、誰が、 何をやっているのか」をオープンに して共感と応援してもらえるように 工夫している。

子供心

子供たちには自ら創造する楽しさを 共有したい。そのため WS には積極 的に小中学生の子供達を招いている。 子供たちに連れられた周りの大人は 仕方なしに参加するも、次第に 好奇心を掻き立てられ結果的に ワイワイとものづくりができる。み んなでつくるを達成するために、 子供たちがもたらす空気感は 貴重なものであると感じる。



久比と出会う

卒業設計で島の調査をしたことがきっかけ で地域に入り込んだ。その地域での繋が りの中でこの物件に出会い購入に至った。

2022.7



島の文化を知る

古民家再生事業の事例研究

石場立ての

保存と建具と

地面の接し方

広島県庄原市高野にある茅葺屋根

を保存した一棟貸しの宿に宿泊。

After

見学中に通りがかったご近所の





- 活動拠点 - 久比へのアクセスマップ



- 久比ってこんな所 -



島会議

ものづくり

社会実験

プロト

調査



- プログラム -

人の繋がり 過去 から学ぶ アウトプット

今を知る 実験する

外部に

コラボ

レクチャー

イベントレクチャー ジャンル問わずプロから学ぶ 寄り道する中で意外な出会いがあるかも





実際に手を動かしながらプロトタイプの

フィールドワーク後 オンラインでこれから進めたい事を話す

コアメンバー会議 活動を進めるための下準備を行う

WS

作制を行う

コアメンバー会議

になっていった。

が溜まっている。

何でも企画にして皆で共有 したいというコアメンバー

の思いは、定期的に行う

コアメンバー会議でカタチ

今ではいつでも企画を

出せるくらい、やりたい事



2022.9

第2回島会議 on-line

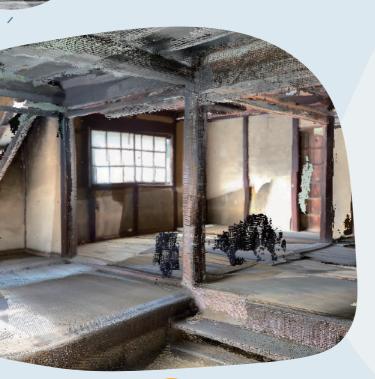
LINE ミーティングにて開催 初めての参加者も一緒に、 島会議をこれからどうしてい きたいかについて話し合った

建物を観る 実験のベースとなる対象

物件を見る。この建物 のバックグラウンドや ポテンシャルをみんなで 考察し、意見を交わした。

アイディア

ヒアリング



実測 3D スキャン

LiDER スキャナによる点群 モデルの作成。木特有の むくりやテクスチャを細部



まで確認できるように。



運び、屋台をつくる。

チャルメラ屋台 どんな竹がいいかその場で 考えて切り出し、組み方もみんなで考えながら組んだり 解体したり。アイディアやチャレンジの積み重ねでできた 屋台は島会議が目指すものづくりの第一歩となった。



竹の屋台で島を練り歩き お茶を配りながら 近所の方とお話し。 みんな不思議がって 足を止めてくれて、 「お茶どうぞ」とい う声掛けで少しずつ 打ち解け自然と笑顔に。



大工さんと納屋改修

隣の島の大工さんに教えて もらいながら壁の解体と朽 ちた柱を継ぐ。当初サウナ を設していたが、みかん畑 に囲われた空間が心地よく、 全会一致でこのまま残して 休憩所として使ってもらう ことに。





壊した土壁を砕いて版築 の材料に。納屋の壁を版 築で改修したいと考えて いるが、まずは小さく 版築を実験するために 休憩所に置くスツールを 制作。



